

## 開催概要

日時 | 2021年6月24日（木）14時～15時

主催 | 公益財団法人仙台市産業振興事業団  
（仙台フィンランド健康福祉センター事業創成国際館）

参加者 | 当日視聴者49名  
録画再生105回（申込者限定で8日間限定公開）

## 【講師】

木村 正裕（きむら まさひろ）  
駐日フィンランド大使館商務部  
上席商務官



## 講話内容

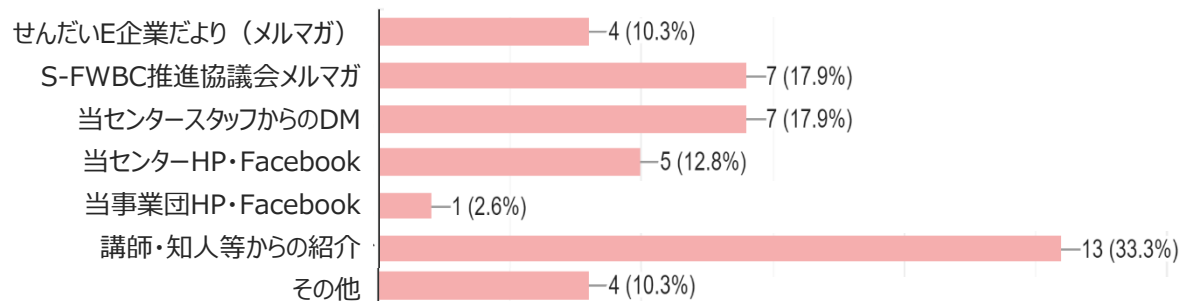
世界幸福度ランキング4年連続1位の一方で、ヨーロッパの中でも急速に高齢化が進んでいるフィンランド。フィンランドの高齢者ケアの在り方について、日本との違い、ライフスタイルに対する考え方、コロナ禍における変化やICTの活用など事例を交えながらお話いただきました。

- フィンランドの福祉国家への道のり
- フィンランドにおける予防介護／自立した生活／シームレスケアの概念
- フィンランドの介護サービスコンテンツ：ホームヘルプ・訪問看護／生活支援／在宅のための住宅サービス／家族や親族によるケアサポート／補助器具・健康管理等の提供／施設／プライベートファミリーケア
- 在宅ケアの重視
- スマートエイジングと在宅ケアをサポートするテクノロジー（KATI）プログラム

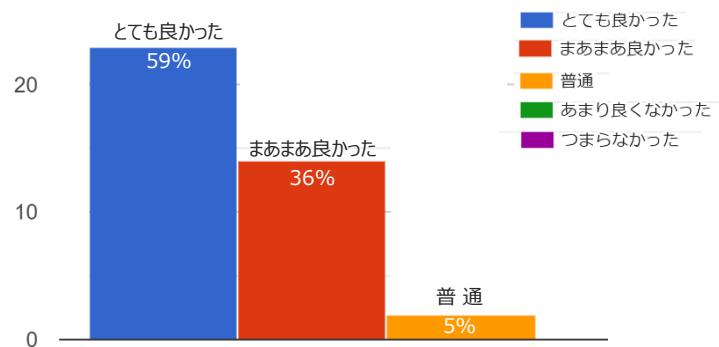


【アンケート回答数39名】

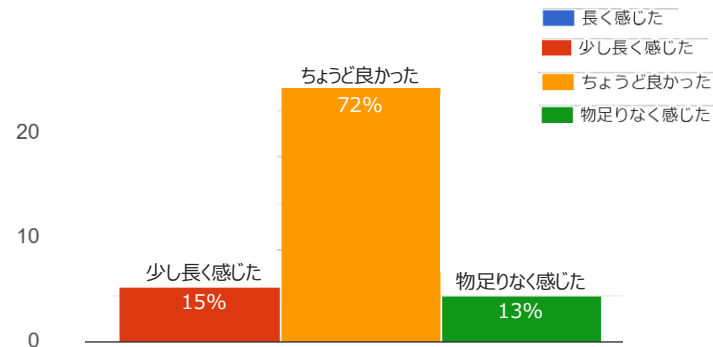
### 1. セミナーを知ったきっかけ



### 2. セミナーはいかがでしたか。



### 3. セミナーの開催時間はいかがでしたか。



#### 4. セミナーに参加した理由（自由記入）

- フィンランドの高齢者事業、介護・福祉に興味がある。
- 高齢者施設に勤務している
- フィンランドの状況を知り、研究対象であるアメリカや、日本と比較したかったから。
- 講師が木村商務官であり、弊社が福祉事業に携わっているので参加しました。
- フィンランドの高齢者ケアについて勉強するため。
- 高齢者福祉とは何ぞや そのあり方を学ぶため
- フィンランドのコロナ渦での高齢者の状況を教えてほしかった
- 現在のフィンランドの現状を知るため
- フィンランドの福祉への取り組みが、日本の福祉の参考になると考えているため。
- 先進的な高齢者ケアの取り組みを知りたかったので
- 病院・介護施設の設計に関わっているので興味がありました。また、今後の日本において高齢になる前に自分で健康管理ができるシステムを理学療法士を交えて検討しているため。
- 高齢化社会を支える適切な社会システムの可能性を知るため
- 知見を広める
- 2006年晩秋に仙台市のフィンランド視察団の一員として、行政や研究機関を始め、ケア施設や在宅ケアの現場を見せていただいてから、だいぶ時間が経ったので、改めて現在を知りたく。
- フィンランドの教育についての講座があったので関連で調べていたところこのセミナーを知りました。社会保障の日本との違いについても仕組みを知りたかったので参加しました。
- フィンランド介護福祉について学びたかったので。木村さんの講演を聴講したかったので。
- フィンランドの介護福祉の現状を知る機会だと思います。
- フィンランドの取り組みに興味があったため。
- "ケア"の本質に立ち返るヒントを得るため
- フィンランドの社会保障制度に興味関心があったので。
- フィンランドのICTに興味があった為。
- 北欧の社会福祉、フィンランドの社会福祉と暮らしに興味があったから
- 今後の日本における医療介護の方向性について、諸外国の情報のアップデート
- フィンランドの高齢者の住まい環境に興味があります。
- フィンランドという国、そしてその福祉制度について興味があったため
- 少子高齢化においてフィンランドの政策、取り組みを知りたかったため。
- フィンランドにおけるデジタル活用について知りたかったため
- 介護実習の学内実習の一つとして受けました。
- これからの高齢化社会の課題の解決のための糸口が見つかれば、と思い参加しました。

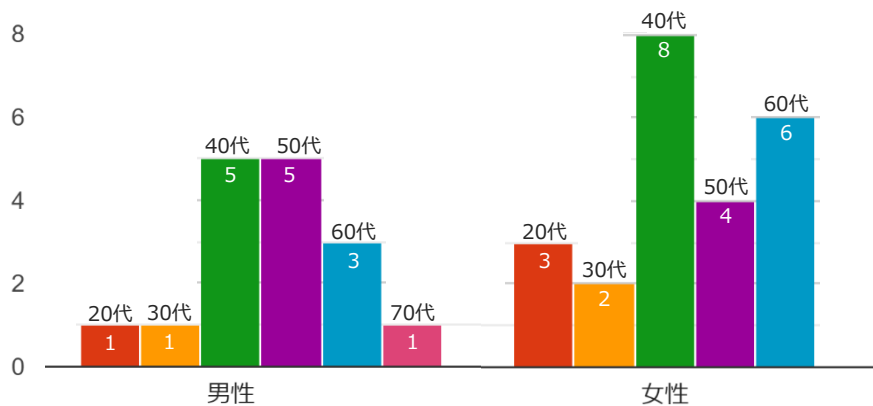
## 5 (1) . 本セミナーの感想等 (自由記入)

- 今回初めて録画を拝聴させて頂きました。想像していた以上に内容が良く、深く知ることができました。オンデマンドで録画対応して頂いたので、有意義に拝聴できました。ありがとうございました。今後も同様のセミナーを期待しています。
- フィンランドの、実際に高齢者をケアされている画像や動画が観られると嬉しいです。
- 社会の価値観が制度が、一人一人の生活に大きく影響することが確認できた。個人の努力に責任を押し付ける日本が、全体的にみると徐々に悪くなっている・不安が増していることを考えると、社会全体の変革がやはり必要だと思う。
- 介護福祉も国による制度に従っていますが、日本社会の現状から文化や価値観を介護福祉にどのように活かしながら変えるのかも考えるきっかけになりました。シームレスケアのフィンランド良い観点から自立した生活を沢山の方々が過ごせるように望んでいます。ありがとうございました。
- 日本も「公助社会」へ向かう方が良いのではないかというお話もあったように、フィンランドの事例を知ることによって、より良い社会へ向かうヒントを得られればと思っています。今後のセミナーにも期待しております。ありがとうございました。
- 短時間で、とても素晴らしいセミナーでした。木村さんの説明のフローがものすごくわかりやすかった！最後の方がかなり難しくなってしまったので、ゆっくりもう一度聞きたい点です。社会保障の根源となる税制についても少し触れてほしかったです。制度としては日本も形式的には同じように作っているつもりなのですが、何が違うのかは直接かかわるプロの人たちでないと違いが判らないなと思って消化不良でした。
- 家族が介護する場合にも、介護手当として支給される制度があることに驚きと納得がありました。家族間で介護しないことが「冷たいことではない」という考え方は、日本でも広く浸透されたいいなと思いました。コロナ禍における「電話サービス」の活用を興味深く思いました。個人的には傾聴やコーチングについて、フィンランドではどのような認識、教育されているのか専門的に学びたい気持ちがあります。本日はとても興味深いテーマを、ありがとうございました。
- もう少し掘り下げた内容が欲しかったです。地域別の課題やICTの活用事例など。
- 自分でキャッチアップするとどうしても「良い情報」を拾いやすくなってしまいます。確かな情報を共有いただける機会は貴重だと感じています。とてもよかったです。
- 「頼らない介護」を深堀しポジティブに感じられるような事例なども紹介してほしいです。
- また、後日のアーカイブはとても助かります。復習にも使えるのでありがたいです。
- 親族介護の義務がないこと、自宅で実際に親を介護をしている人を見つけるのが大変、というのは日本との大きな違いですね。
- 国情については理解したが、デジタル力の活用シーンが不明。
- 今後は、仙台市で参考にするためにフィンランド国のデジタル活用（特に番号制度）について深堀した講演並びに協働PJT（フィンランドから学ぶ）を実施してほしい。今、国はDX推進に躍起になっている。フィンランドと友好な関係を持つ仙台市であれば、他市に比べて先進的取り組みができるものと思う。期待しています。
- 他の国のことを知れる機会は少ないので大変勉強になりました。
- 日本で直接、採用できない面も多いので、難しいと思うのですが、実際の運営ややり方をそれまでの経緯を踏まえて、どんな風にやってきて、今があるのかを見たかったと思っています。
- 録画を配信していただけるのも、とてもありがたいです。ゆっくり拝聴させて頂きました。
- とても勉強になりました。どうもありがとうございました。

## 5 (2) . 今後取り上げてほしいテーマ等 (自由記入)

- フィンランドのICTを使った幼児教育
- フィンランドの当事者インタビューなど
- フィンランドの生活・文化・デザインについて多方面から取り上げて欲しいです
- (コロナ禍問題が解決したとして) フィンランドへの視察ツアーなど、実際に見られる場があると良いと感じた。
- フィンランドの福祉用具の提供について
- 北欧の高齢者施設の設計をぜひ見てみたいと思います。
- 海外のケア現場で働く人の意見、考え、シンポジウムなど
- SDGsが世界で一番進んでいるのですね。具体的に日々の生活や、国や企業の取り組み等知りたいです。私自身が40代後半なので、予防介護が一番気になりました。健康には気をつけているつもりですが、フィンランドの同世代の方のライフスタイルやどんな健康法を実践されているのか知りたいです。食生活も、日本でしたら玄米や最近ではビーガン、有機野菜等を取り入れるなど耳にしますし、おうちヨガやウォーキング等もわりと浸透していると思いますが、フィンランドでは実際どんな感じなのでしょう？個人的にムーミンが好きで、可愛い北欧雑貨が好きなのでまだ日本では知られていない何かがあればぜひ知りたいです。

## 6. 参加者の属性 | 性別・年代



## 7. 参加者の属性 | 所属

